

デーリー東北
2025年(令和7年)9月6日(土曜日) (13)

村を題材現代アート

新郷

新郷村を題材にした現代アートの展覧会「シンゴウムラアートプロジェクト」が6日、同村の旧西越小で始まる。県内外のアーティスト8人が、村内の風景や文化などに触れながら創作した作品を展示。旧校舎のノスタルジックな雰囲気とアーティストの感性が融合した、独特な世界観を演出している。28日まで。(田村純也)

キュレーターを務める小比類巻侑生さん(八戸工業大感性デザイン学部4年)が、村地域おこし協力隊の清水香帆さんと連携して準備を進めてきた。



「現代アートの世界を楽しんでほしい」と来場を呼びかける小比類巻侑生さん(左)と清水香帆さん

旧西越小できょう開幕 県内外8人の作品展示

「シンゴウムラアートプロジェクト」

関連イベント ※かっこ内は開始時間

- 9月6日 オープニングイベント(午前10時)
- 9月15日 シンゴウムラ歩き(午前10時、午後3時)
- 9月20、21日 トークセッション(午前10時)
- 9月27日 アートレクチャー(午後4時)
- 9月28日 クロージングイベント(午後4時)

ており、完成した物から順次追加される予定だ。野々山裕樹さん(東京都出身)は、布を写真の現像液に浸し、太陽光に当たると青く変色する特性を生かしてさまざまな人の形を表現した。

小比類巻さんは「小学校の校舎は誰もが原点に戻れる場所。アーティストが楽しみながら制作した作品をじっくり見てほしい」。清水さんは「村や学校ならではの空気を感しながら作品を楽しんでほしい」とそれぞれ語った。

作品展示は毎週金、土、日、祝日の午前10時～午後6時。期間中は関連イベントも行われる。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。